

授業改善推進プラン 算 数 [小学校第4～6学年]

昭島市立光華小学校

学年等	項目	内 容
令和 2 年度 第 4 学 年	学習に関する児童の実態・課題	○基本的な計算をすることができる児童が多い。 ▲数が多いかけ算やわり算の筆算の習熟に差がある。 ▲適切な演算決定をしたり、式から考えを読み取ったりすることが苦手とする児童が多い。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・正しい手順で計算できる力 ・題意に沿って、既習事項を生かし、正確で丁寧な問題解決をする態度と力
	具体的な授業改善の方策	・計算の手順を忘れないよう、算数タイム等を活用して、既習の四則計算を継続的に取り組めるようにする。 ・問われていることは何かを明確にするために、下線を引くなどの活動をしたり、自力解決の時間を十分にとり、互いに考えを発表する授業展開を行ったりすることで、自ら解決する力を養う。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○継続的な練習によって、わり算の筆算や分数の計算など正しい手順で計算する力が身に付いてきた。 ▲典型的な文章問題などは立式できるが、3口の計算につながるもの立式ができない児童が多い。 ▲筆算は知っているが、その解き方を説明したり、他の考え方を出したりと自分の考え方を表現することが苦手である。
令和 3 年度 第 5 学 年	学習に関する児童の実態・課題	○基本的な表やグラフを読み取ることはできている児童が多い。 ▲基本的な計算(4年生の内容)に課題のある児童が多い。 ▲適切な演算決定をしたり、式から考えを読み取ったりすることが苦手とする児童が多い。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・正しく計算する力 ・問題場面を的確に理解して見通しをもち、粘り強く解決する力
	具体的な授業改善の方策	・算数の授業の始めに、計算の反復学習の時間を設け、継続的に取り組む。 ・問題解決の要となるキーワードや図の描き方などについて、見通しの過程での意見交流を大切にしてから、自力解決に取り組むようにする。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	▲基本的な計算の力がまだ弱い。授業始めや途中の計算など、小数を含んだかけ算、わり算など、既習の内容も引き続き演習に取り組んでいく必要がある。 ○キーワードを読み取ったり、既習事項を使って考えられないか検討できる児童が増えた。
令和 4 年度 第 6 学 年	学習に関する児童の実態・課題	○問題に対して既習の内容から見通しをもって粘り強く解決しようとしている。 ○分数のかけ算・わり算の特性を捉え、理解している。 ▲図形の性質や図形の軽量について考察する力をつけていく必要がある。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・図形の概念や基本图形がもつ性質を理解し、図形について豊かな感覚を身に付ける。 ・規則に従って正しく並べたり、整理して見やすくしたりして、誤りなく全ての場合を明らかにできる。 ・問題に対して多面的に捉え、検討し、粘り強く考える態度、そしてそれを自分の生活や学習に活用する力
	具体的な授業改善の方策	・図形の構成(作図)をしたり、図形の性質を活用して答えを明らかにしたりする活動を多く取り入れる。 ・算数の問題を日常生活に利用する活動を取り入れる。
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	